

キャッシュドロワ鍵ユニット交換方法

対応機種：DWS48MRS / DWS48MRS-2

以下はドロワが正常な状態における鍵交換の方法を示します。
故障による鍵交換の場合、障害の状況により本書記載では交換できない場合もあります。その場合は、実機に合わせて適時対応してください。

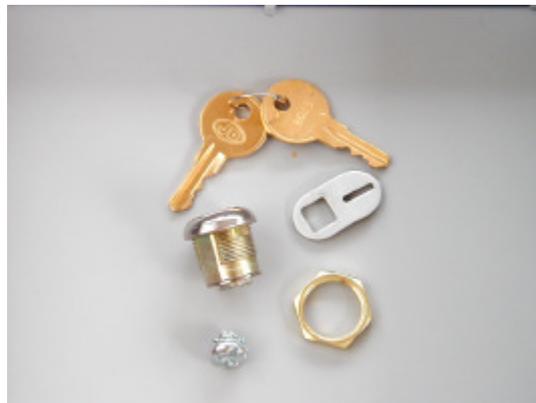
鍵ユニットの交換につきましては、基本的に型枠にあわせてそれぞれのパーツをはめ込むことで取り付けますので、特別な調整等は不要です。

交換に必要な工具

- プラスドライバ
- 22mm レンチ、スパナまたは 22mm の金属ナットをまわせる工具

必要なメンテナンス部品

DWS48MRS(-2)用鍵ユニット[テクノベインズ]



ドロワ鍵交換方法

ドロワを平らな場所でオープンします。

パソコンへ接続してオープンもしくは残っている鍵にてオープンします。

筐体表面に開くためのねじはありません。ドロワをロック（パソコンから開かない状態）した状態ですべての鍵を紛失した場合、開くためには鍵ユニットを強制的に破壊するしか方法はありません。

ドロワをいっぱい引き出し、中のプラスチックトレイをはずします。



トレイのつめ

トレイは手前 2 箇所のつめでドロワのフロントベゼルに固定されています。トレイ全体を後ろへ押し込むと、トレイ手前を持ち上げることができます。

トレイをはずすとフロントベゼルの裏側にキーユニットが露出します。



鍵を取り外す前に、この状態で鍵を回し、金属バーなど鍵の機構全体がスムーズに動作していることを確認してください。

鍵ユニット中央のねじをはずします。



ねじを緩める際に、ドライバーをまわす方向に鍵を回しておきます。

金属フックをはずします。



留めねじをはずすと、金属フックは四角い枠にはまっているので、簡単に外れます。

鍵ユニットを固定している六角ナットをはずします。



22mm レンチ/スパナを使うと簡単に作業ができます。

鍵ユニットをフロントベゼル手前に引き抜きます。



新しい鍵ユニットを鍵ユニット穴に差し込みます。



鍵ユニットの両側に2方向に差し込めますが、鍵穴が下に伸びる方向（上写真）で差し込んでください。

鍵穴横に刻印がある場合、その番号の鍵とセットになります。

（かぎ番号なしタイプもあります。）

鍵違いは何種類かありますので、はずした鍵と新しくつけた鍵を間違えないでください。

鍵ユニットを取り付けます。

レンチを使用して鍵ユニットを締め付ける場合、鍵ユニットのネジ部に無理な力がかからないように注意して締め付けてください。

金属フックを取り付け、ねじ止めします。

鍵ユニットにはめる際、はめ込み部分が4角形なのでフックは4方向に差し込めます。正しい向きは、鍵を垂直状態に回した状態で、金属フックのスリット穴が上にくるようにはめます。

トレーを戻して交換完了です。

鍵を回し、正しく鍵が動作するか確認してください。